

近畿



近畿の景況は、住宅建築が足許減少したものの、輸出、生産活動が回復に向けた動きとなるなど、持ち直し。

個人消費は、豪雨や猛暑による客足の減少などから大型小売店販売が減少したものの、乗用車販売が増加するなど、緩やかな持ち直しの動き。住宅建築は、分譲住宅が増加したものの、持家、貸家が減少するなど、足許減少。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、緩やかな持ち直しの動き。公共工事は、国、独立行政法人等、府県、市町村が増加するなど、下げ止まり。輸出は、石油製品、鉄鋼、原動機が増加するなど、回復に向けた動き。

生産活動は、繊維、プラスチック製品が減少したものの、金属製品、窯業・土石製品、輸送機械が増加するなど、回復に向けた動き。観光は、台風の影響などから入込客や宿泊客が減少するなど、弱含み。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移し、現金給与総額が増加するなど、改善。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢